

が多い。

## IV 森林以外の自然植生

### 1) はじめに

わが国のような多雨気候のもとでは気候的極相は森林になるし、前述のように、地形・土壌的極相も森林のかたちをとることが多い。しかし、地形・土壌的に非常に特徴的な立地になると森林以外のさまざまな自然植生もみられる。以下に、福島県域に出現する主なものについてのべる。

### 2) 砂丘植生

川が運んで来た砂は、川が海に注ぐ所で堆積する。隆起性の海岸では、そこに広大な浅くて平坦な海底地形が形成される。それが干潮のときに水面の上に現れ、表面の砂が風で陸の方に運ばれる。そして風の力をそぐものがあるとそこに堆積する。風の力をそぐ障害物がただの物であれば、その物は砂に埋もれてしまうだけであるが、

或る種の植物は、砂に埋もれるとすぐに垂直に地下茎をのばして砂の上に出る。そうするとそこにまた砂がたまる。こうして、植物と飛砂のいたちごっこで砂丘が発達して行く。このような砂丘をつくる植物群を砂丘植生という。

福島県で砂丘のよく発達しているのはいわき市の夏井川の河口を中心として広がる新舞子浜である。ここでは、図 17 に概念的に示したように、汀に近い最前線にはコウボウムギやハマニクがつくる未発達の小さな砂丘があり、そ



図 21 新舞子浜（いわき市四ツ倉町）  
砂浜上の植物はケカモノハシ、ハマニガナ、ハマヒルガオなど。海岸堤防や観光道路の構築により、このような自然海岸はかなり縮小されている。

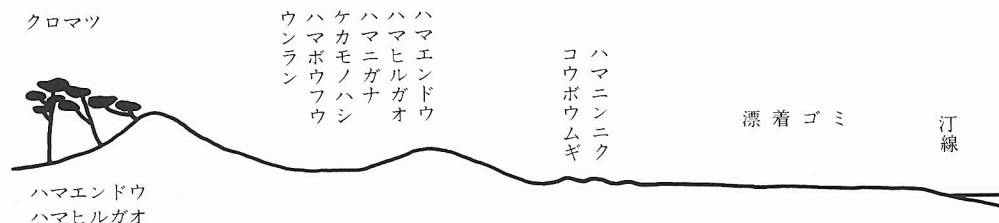


図 22 新舞子浜砂丘のプロファイルと植物の分布